

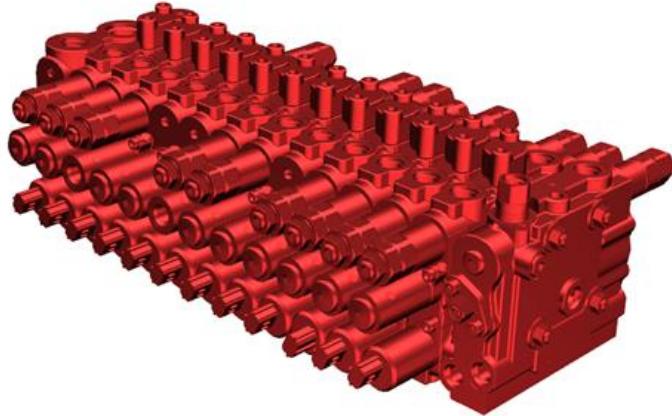
カヤバNEWS

小型油圧ショベル用コントロールバルブ KVSX-12C-PSL の開発

当社は、小型油圧ショベル向けロードセンシングシステム^{注1)}コントロールバルブ KVSX-12C-PSLを開発し、量産化しました。

注1) 車両の負荷に応じて出力を自動で調整する技術

ショベルの自動・遠隔駆動化や細かな制御が求められるコントロールバルブの需要に対して、2~4トン向けKVSX-12Cを対象に電子制御化したモデルです。



外観モデル

従来、農機用に使用していた減圧弁部の構造を見直して以下の点が向上しました。

- ・高いパイロット圧力への対応 (2MPa→3MPa) による建機用としての用途拡大。
- ・減圧弁部のスリーブタイプ化による応答性や発振に対応可能なチューニング性向上。
- ・減圧弁部のスプリング配置の見直しによる組立性/メンテナンス性の向上。

電子化対応製品の開発によって

ショベルの自動・遠隔操作におけるムダな動作が削減され燃費向上も期待できショベル動作時におけるCO₂排出量の削減に貢献いたします。

詳細は「カヤバ技報 第71号」を参照ください。

https://www.kyb.co.jp/technical_report/data/no71j/product-introduction_01.pdf

【本件に関するお問合せ先】 広報IR室 TEL:03-3435-3552

以上